

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ディープインパクト産駒が史上最速でJRA通算1000勝達成

10月12日(祝・月)の4回東京3日・第5レースではラベンダーヴァレイが1着となり、ディープインパクト産駒がJRA通算1000勝を達成しました。種牡馬としてはJRA史上17頭目のこと。また5年3か月23日での1000勝達成は、キングカメハメハ産駒の6年1か月6日を大幅に上回る史上最速の記録となります。

●トウケイヘイローの競走馬登録抹消

2013年札幌記念(GII)などの勝ち馬トウケイヘイロー(牡6歳/栗東・清水久詞厩舎)は、右前浅屈腱炎を発症していることが判明し、10月10日(土)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績24戦8勝・海外3戦0勝で、今後は北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬となる予定です。

●ショウナンアデラが故障

2014年阪神ジュベナイルフィリーズ(GI)の勝ち馬ショウナンアデラ(牝3歳/美浦・二ノ宮敬宇厩舎)は、左第3中手骨遠位鱗裂骨折を発症していることが判明しました。今後6か月以上の休養を要する見込みです。

●ジョッキーベイビーズ決勝大会、優勝は大池峻馬くん

10月11日(日)の4回東京2日・最終レース終了後、全国ポニー競馬選手権「第7回ジョッキーベイビーズ」決勝大会が、東京競馬場・芝コースの直線400mを舞台として開催されました。全国7か所の地区代表決定戦を勝ち抜いた8名が出場し、北海道地区代表の大池峻馬くん(10歳・浦河ポニー乗馬スポーツ少年団)が優勝しています。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

IFHA(国際競馬統括機関連盟)から恒例の「ロンジンワールドベストレースホースランキング」が発表されました(単位はポンド)。今回の発表は2015年1月1日から10月4日までに施行された世界の主要レースが対象で、新たに凱旋門賞などが含まれます。首位は前回に引き続きアメリカンファラオ(131)。第2位のゴールデンホーン(130)は凱旋門賞を勝利したもののレーティングと順位に変動はなく、トレヴはヴェルメイユ賞の6馬身差勝利が評価されて前回の第5位タイ(124)から第3位(126)へと順位を上げました。日本調教馬はドゥラメンテが第20位タイ(121)、ゴールドシップとラブリーデイが第32位タイ(120)となっています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ベストウォーリアが人気に応じて南部杯(盛岡)連覇達成

マイルチャンピオンシップ南部杯(JpnI、10月12日、盛岡、1600m)は、4番手を進んだ昨年の覇者ベストウォーリア(福永祐一騎手、牡5歳、父マジステックウォリアー)が残り200mを切った辺りで逃げ粘るタガノトネルを捉えて2馬身突き放し、単勝1.3倍の支持に応えました。2番人気のワンダーアキュートは2着にハナ差及ばず3着、ダブルスターは4着、エーシンビートロンは8着、アドマイヤロイヤルは10着に敗れています。

●エーデルワイス賞(門別)は地元北海道のタイニーダンサー

エーデルワイス賞(JpnIII、2歳牝馬、10月15日、門別、1200m)は、中団の内から追い上げた2番人気の北海道のタイニーダンサー(桑村真明騎手、父サウスヴィグラス)が、逃げた同厩舎で3番人気のモダンウーマンをゴール前で差し切って2馬身差で完勝。JRA所属馬はディーズブラネットの3着が最高で、1番人気に推されたチェストケリリーは出遅れが響いたか5着、ズカプリズムは6着、デルマオカルは9着に終わっています。

●インタラクシオンC(大井)で韓国馬はチョングの4着が最高

韓国からの招待馬3頭が出走した日韓交流競走、15インタラクシオンC(準重賞、10月13日、大井、1200m)は、1番人気のサトノタイガー(浦和)が優勝。韓国勢は、逃げた2番人気のチョングが4着、カウボーイソンは8着、ダイナミックジルジュは10着でした。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●エアフォースブルー、G1・3連勝で英2000ギニー大本命へ

来年の英クラシックを占うデューハーストS(英G1、直線芝700m)は10月10日、ニューマーケット競馬場の良馬場で行われ、断然人気のエアフォースブルー(牡2歳、父ウォーフフロント)が4番手から残り100mを過ぎて抜け出し、後続に3馬身1/4の差をつけました。勝利騎手R.ムーア、調教師A.オブライエン(愛)。これでアイルランドのフェニックスS、ナショナルSに続くG1・3連勝で通算5戦4勝。10月15日現在のウィリアムヒル社による来年の英2000ギニーのオッズは、早々と2.0倍の大本命です。

●マインディングは来年の英1000ギニーとオークスの1番人気

その前日にニューマーケット競馬場の稍重馬場で行われたフィリーズマイル(英G1、直線芝1000m)は、これも断然人気のマインディング(牝2歳、父ガリレオ)が残り200mで突き抜け、4馬身1/2差の圧勝を飾りました。これで5戦3勝。モイグレアスタッドSに次いでG1・2勝目。勝利騎手R.ムーア、調教師A.オブライエン(愛)。これでウィリアムヒル社の来年の英1000ギニーは4.5倍、英オークスは6倍で、ともに1番人気となりました。